



特集

春季集落座談会 ご意見・ご要望について

↑米田地区

3月9日～15日までの5日間、管内45会場で春季集落座談会を開催しました。

今回の座談会では、第七次3カ年計画の詳細や平成28年度経営計画について説明するとともに、今後の運営の参考とさせていただくために開催したものです。

出席していただいた319名の組合員の皆様から、貴重なご意見・ご要望をいただき、その主な内容についておつなぎいたします。

なお、重複している内容については、集約させていただきましたので、あらかじめご了承ください。

J A あきた白神第七次3カ年計画 (案) ニュース

Q 今後、計画されているメガ団地構想について、詳しく教えてほしい。また、

現在のメガ団地は品目がねぎですが、他の野菜で実施する構想はないのでしょうか。

A 新「園芸メガ団地」は、重点5品目（白神ねぎ、白神山うど、白神みょうが、

白神きゃべつ、アスパラガス）を中心に、現状の1団地方式あるいは3,000万円クラスの間地を3か所にして法人または連絡協議会で運営するネットワーク方式にするかを含め構想を検討することとしております。

Q 現在、農業法人や集落営農等のない地域は、集落営農・法人化に向けた今後の

の方策について、J A で誘導するよう考えてほしい。また、J A では、複合経営を勧めておりますが、排水が悪く、畑作に適していない圃場が多い地域においては、複合経営へ転換できないので、農家が経営を継続できる対策にもっと力を入れてほしいです。

A J A 地域営農ビジョンを作成時に、地域の現状や要望を基に作成します。そのこの集落（地域）に合った水稻作付けや野菜振興、また集落営農だったり法人化を、集落